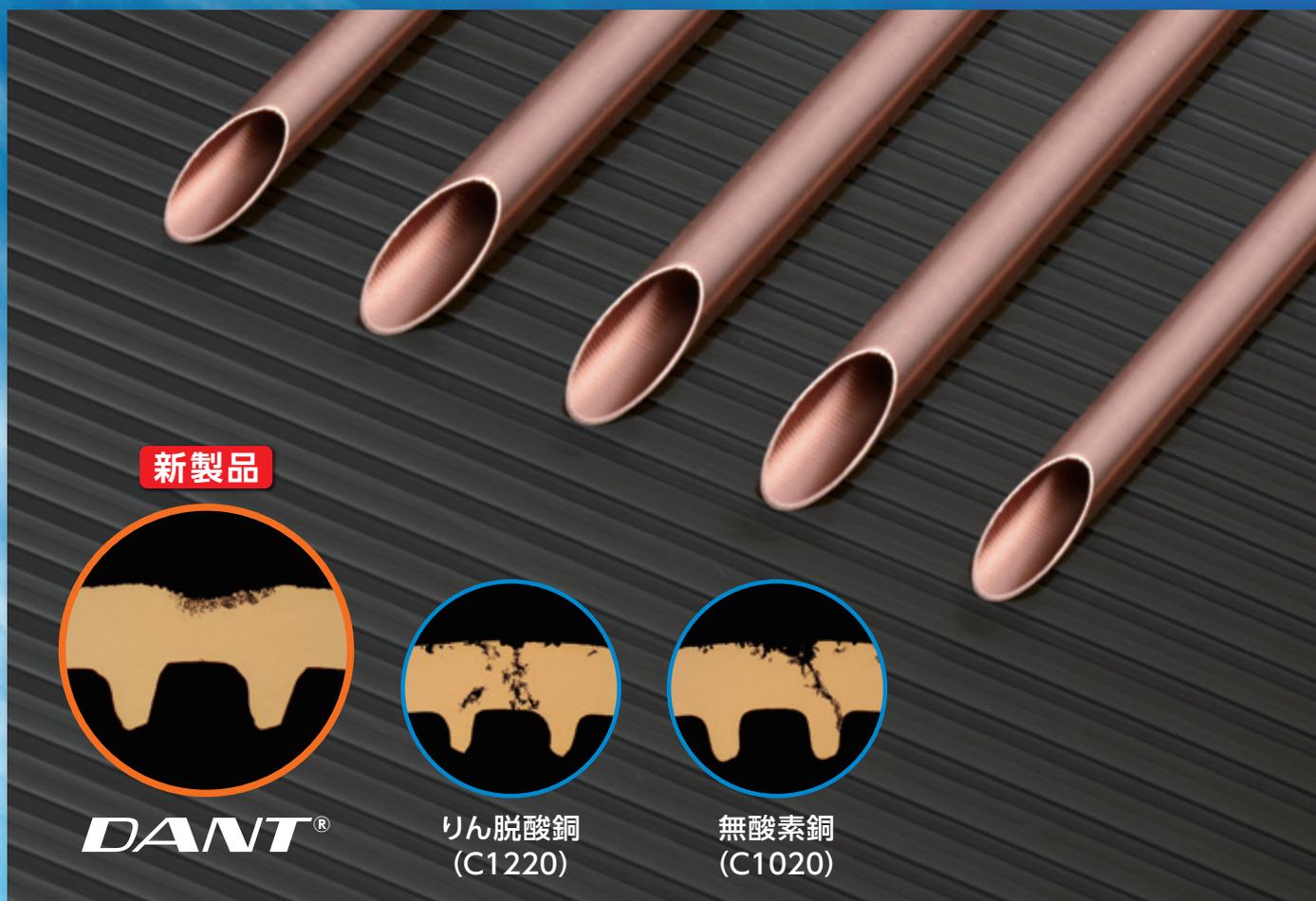


冷凍空調機器での蟻の巣状腐食を抑制



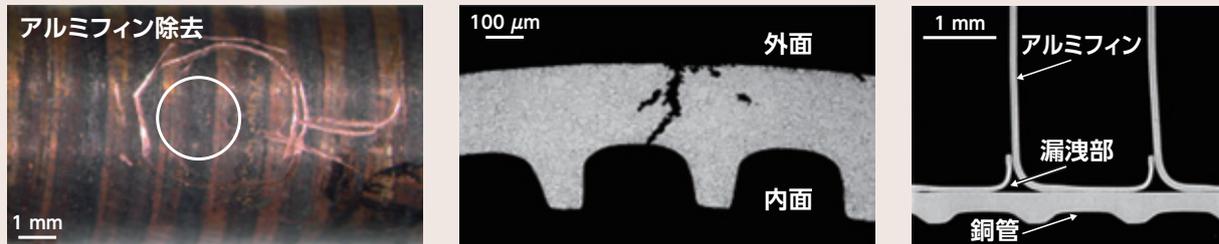
蟻の巣状腐食への耐性が高く、熱交換器および接続配管の寿命を改善
(JIS等必要規格の登録申請中)

内面らせん溝付管を含め、既存の伝熱管と同等の幅広い管種でのご提供が可能

ヘアピン曲げや拡管、ろう付などの一般的な加工も容易

銅管における蟻の巣状腐食

銅管表面の微小な腐食孔から管肉厚方向に蟻の巣状に進行する腐食のことで、蟻酸や酢酸などの有機酸を腐食媒として発生します。主な発生場所は、フィンカラーリフレア一部の隙間で、腐食媒は、熱交組立時の加工油やろう付フラックス、建屋内のホルムアルデヒドなどが加水分解を起こした有機酸です。



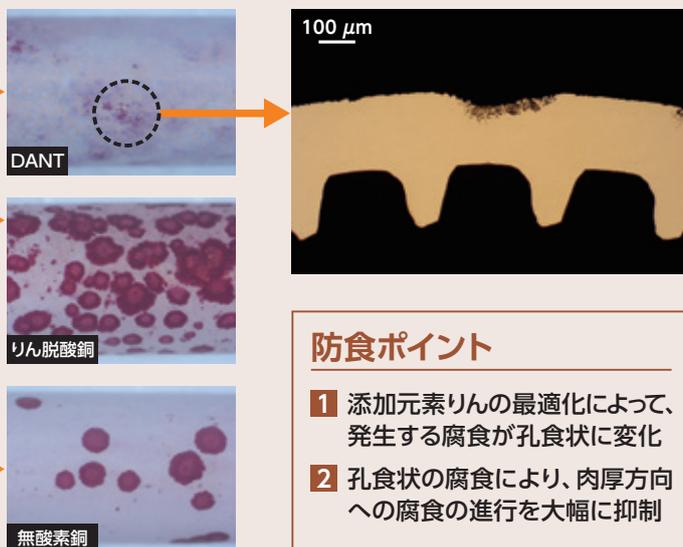
耐蟻の巣状腐食性

加速試験条件
0.1%蟻酸雰囲気、80日間



浸透探傷試験結果

※微細な欠陥部に赤色の浸透液を含ませて、白色の現像液に指示模様を描かせる試験。
蟻の巣状腐食の場合、貫通孔で強い指示模様を示す。



防食ポイント

- 1 添加元素りんの最適化によって、発生する腐食が孔食状に変化
- 2 孔食状の腐食により、肉厚方向への腐食の進行を大幅に抑制

材料特性

ヘアピン曲げやろう付などの加工性、熱交換器用伝熱管に求められる材料特性は、これまでのりん脱酸銅と同等以上であり、新たな設備投資などを必要としません。

	DANT	りん脱酸銅 C1220	無酸素銅 C1020
耐圧強度	◎	○	△
曲げ加工性	○	○	○
耐塩水性	○	○	○
応力腐食割れ	○	○	◎
蟻の巣状腐食	◎	△	○

NJT銅管株式会社

- 本社・伸銅所 〒441-1295 愛知県豊川市大木町新道100 ☎0533(93)2311
- 東日本営業室 〒103-0025 東京都中央区日本橋茅場町1-8-1(茅場町一丁目平和ビル5階) ☎03(6631)9501
- 西日本営業室 〒541-0043 大阪府大阪市中央区高麗橋4-2-16(大阪朝日生命館2階) ☎06(7639)1881
- 開発営業室 〒103-0025 東京都中央区日本橋茅場町1-8-1(茅場町一丁目平和ビル5階) ☎03(6631)9501

■ご用命は